

～安心して学べる魅力ある学校・学級づくりのために～

学校教育活動全体の再点検を

9月26日(金)をもちまして、所長人事課長訪問、管理訪問が終了し、管内全74校を訪問いたしました。

それぞれの学校で、グランドデザインに込めた熱い思いや経営方針、日頃の取組などを確認するとともに、授業参観では、生き生きと学ぶ子どもたちと、それを支援する先生方を拝見することができました。校長先生をはじめとする先生方、そして、学校を支えていただいている全ての職員、地域、保護者等の皆様方にあらためて感謝申し上げます。

また、9月30日(火)には、県南総合法律事務所の久保田喬様を講師にお招きし、コンプライアンス確保に向けた校長研修会を実施しました。「組織的対応」や「法的な知識、思考」の大切さ、いじめ重大事態ガイドライン、日本版DBSについて、分かりやすくご講話いただきました。後半には、コンプライアンス確保に向けた熱心な協議も行われました。研修の内容について、ぜひ各学校でも共有をお願いいたします。



少し古い話題になりますが、文部科学省は、令和2年に発行した『学校事故対応に関する指針』に基づく詳細調査報告書の横断整理の中で、「m-SHELLモデル」(右表)を用いて、様々な学校事故を例に、事故発生した際の、関係者や周囲の環境を分析し、事故発生の背後にある要因を分析しています。

県北管内のどの学校にも起こり得る、様々な事例を分析・整理していますので、ぜひ、ヒヤリハット事例を分析するなど、各学校の研修等でご活用ください。

m-SHELL モデル	m-SHELL モデルの 各要素の意味	学校事故に読み替えた場合の 各要素の意味
S (Software)	作業手順や作業指示書、作業指示の出し方、教育訓練などのソフトに関する要素。	学校事故を防止するための <u>研修</u> や安全教育、 <u>マニュアル</u> や <u>規則</u> 、 <u>指導計画</u> など。
H (Hardware)	作業上の装置やシステムといったハードに関する要素。	授業や部活動で使用する <u>施設や器具</u> など。
E (Environment)	照明、騒音、温度、湿度といった作業環境に関する要素。	事故発生時の <u>温度や湿度</u> 、 <u>照明</u> などの物理的環境、その他の事故に影響を与えたと考えられる <u>環境</u> など。
L1 (Liveware1)	当事者本人に関する要素。	当該事故で被害児童生徒を直接指導していた <u>教員やスタッフ</u> など。
L2 (Liveware2)	当事者周囲の同僚や関係者、相手に関する要素。	被害児童生徒及びその家族、被害児童生徒以外の児童生徒。
m (management)	組織や体制、職場の雰囲気づくり、安全管理などの要素。	事故に対する学校側の <u>指導体制</u> 、指導方法、 <u>安全管理</u> 。

10月から11月にかけては、各種行事や授業研究など、各学校で最も教育活動が充実する時期だといえますが、反面、これまでの油断や知らず知らずの疲れの蓄積等により、大きな学校事故やトラブル、不祥事が生じやすい時期でもあると考えます。あらためて、各学校のこれまでの取組を振り返り、大きな事案につながるような予兆の見逃し、見過ごし、見落としはないかどうか、学校教育活動全体の再点検をお願いいたします。

(参考)「学校事故対応に関する指針」に基づく詳細調査報告書の横断整理

令和2年3月 文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課

<https://anzenkyouiku.mext.go.jp/mextshiryou/data/jikoshishinseiri.pdf>

全国学力・学習状況調査を踏まえた授業改善

R7全国学力・学習状況調査における県北管内で特に課題となった設問を以下に示しました。各学校においては、何が課題となっているかを把握し、以下の指導改善のポイントを参考にしながら、学力向上に向けた確実な取組をお願いいたします。

中学校国語 4二

文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる。

【問題】

□で囲まれた部分には、兄弟が目的を達成できなかった場面のあとに続く話がかかれています。このような展開になっていることは、「二人の兄弟」という物語においてどのような効果があると考えますか。あなたの考えとその理由を具体的に書きなさい。

【正答率】 県北 14.5% 県(並) 15.8% 国(並) 17.1%

【誤答の分析】

- 物語の内容を適切に取り上げ、文章の展開の効果を書いているが、本設問で着目している展開を踏まえていない。 34.5%
- 何かしら書いているが、問われていることが理解できていない。 26.3%
- 無 答 24.6%

【指導改善のポイント】

文章の構成や展開を意識した読み方を促すために
→ **展開を予測しながら**作品を読み、**文章の構成や展開の効果**について考える活動を取り入れる。

自分の予測と文章の構成や展開が異なると・・・

- ①文章の構成や展開の効果を考えるきっかけになる。
- ②根拠を文章から探す経験になる。

小学校算数 3(3)

数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることができるかどうかをみる。

【問題】

次の数直線のア、イの目もりが表す数を分数でかきましょう。



【正答率】 県北 27.8% 県(並) 33.1% 国(並) 35.0%

【誤答の分析】

- メモリが6つあるので、アを1/6、イを5/6と解答している。 4.9%
- 設問をよく読まずに、小数で解答している。 16.2%
- アを1/6や1/3以外の分数で、イを5/3や5/6と以外の分数で解答している。 15.7%

【指導改善のポイント】

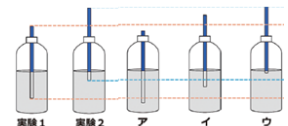
数直線上で分数を正しくかき表すことができるようにするために
→ ・ **0から1までが何等分されているかに着目**して単位分数を捉えることができるようにする。
・ 他の目盛りが表す分数を**単位分数の幾つ分**として考えることができるようにする。

中学校理科 2(1)

【考察】をより確かなものにするために、音に関する知識及び技能を活用して、変える条件に着目した実験を計画し、予想される実験の結果を適切に説明できるかどうかをみる

【問題】

【考察】をより確かなものにするために1つ実験を追加するとしたら、次のア、イ、ウのうち、あなたはどの実験を選びますか。振動数という言葉を使って理由も書きなさい。



【正答率】 県北 10.8% 県(並) 14.6% 国(並) 14.0%

【誤答の分析】

- ア、イ、ウのそれぞれを選択しているが、設問の要件を満たしていない。 ア 24.5% イ 22.3% ウ 25.3%
- ア、イ、ウのそれぞれを選択しているが、理由が書かれていない。 9.9%
- 無 答 0.7%

【指導改善のポイント】

実験を計画し、予想される結果を適切に説明できるようにするために
→ ・ **何が分かればよいのか**をはっきりさせてから観察・実験を行う。
・ **科学的な探究の過程を振り返り**、探究の見通しをもたせる。
・ 比較して関係づける対象を明確にして示すような**言語活動の充実**を図る。